

☆今回の「研究開発通信」では、本校における新しい取り組みをご報告いたします。

☆高1・高2 秋に到達度テストを実施しました。

高1・高2では、春に続いて2回目となる到達度テストを今秋に実施致しました。成績表が高1・高2の皆さんの手元に届いていると思いますが、結果は如何でしたか？春と比べると、全体的には英語・国語の正解率がアップし、数学がダウンするという結果でした。到達度テストは基礎学力の定着度合いを測るものですが、定着していない分野は個々に異なりますので、一人一人に合った個別最適学習が必要になります。また、大学入試においては英語4技能が必要となりますので、この習熟に向けた学習方法も必要となります。そこで本校では、ICTを活用した新しい取り組みとして、英語では「スタディサプリ English」、数学では「Qubena（キュビナ）」を2020年度より中高全学年で導入して対応します。これにより学校以外の場所でも個別最適学習ができる環境になりますので、今以上にタブレットを活用してくれることを期待します。以下では、「スタディサプリ English」「Qubena」についてご説明します。

☆英語 「スタディサプリ English」

グローバル化が進む世の中の動きに対応して、従来の入試の姿は大きく変わろうとしています。「4技能試験」は、すでに様々な大学入試に利用されており、その利用校数は増える一方です。中学、高校のうちから従来の文法、英作文、英文読解だけでなく、リスニング、スピーキング、ライティング能力を身に付けておく重要性が高まってきているのです。この「話す力」「聴く力」を身につける事にフォーカスした次世代型 e-learning が「スタディサプリ English」なのです。



<リスニング>
ディクテーション等の結果から聴き取れない原因を自動検知し、10000問以上あるトレーニング問題から学習者に最適な問題を提供してくれます。
<スピーキング>
音声認識技術を活用して、会話後に発音の改善ポイントと改善するためのアドバイスが得られます。

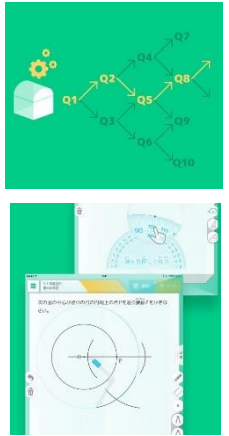


リスニング・スピーキングともLV1（英検3～5級）～LV7（英検準1級）まで7段階に分かれており、学習者の到達度や目標に合わせた、最適なリスニング・スピーキング学習を提供してくれるものになります。

☆数学「Qubena」

「Qubena」（キュビナ）とは、AI（人工知能）が生徒の得意、不得意を分析し、その人が解くべき難易度の問題へと誘導してくれるAI型タブレット教材です。「Qubena」には次のような特徴があります。

- ①生徒によって間違え方も解き方も人それぞれです。Qubenaでは一人一人に合った問題が出題されます。間違いの原因を人工知能が分析し、たとえ過去の単元や前の学年の分野につまずきポイントがあったとしても、原因を解決するためにその生徒が解くべき問題へと誘導します。
- ②学習を快適にするいくつかの機能とデザインを備えています。例えば、実際のノートと同じようにペンを使って手書きで学習を進めていきます。自動の文字認識、正誤判定、メモ機能によってタブレット1つですべての学習が完結します。ヒントや解説アニメーションが充実しているので、上級学年の単元へ進むことも、難易度の高い問題へ挑戦することもできます。
- ③タブレットでは実現が困難だった「定規・コンパス・分度器を使った作図」や「関数のグラフ作成」にも対応しています。わかりやすいシンプルな操作で、本質的な学習が可能です。



生徒の使用頻度が上がるほど、その子の特性をより理解し、さらに最適な問題へと誘導してくれる、世界でたった一つの「自分だけの先生」として進化していきます。

2020年度の全学年導入に先駆けて、現中学1年生、中学2年生にはこの冬より先行導入をし、3学期より本格的に活用していきます。小学1年から、高校の数学I A、数学II Bまでの全範囲を網羅していますので、皆さんの苦手克服に最適な学習をサポートしてくれるはずです。